

# 日英EPAの大筋合意結果について (鉱工業品関税)

令和2年9月  
経済産業省

# 鉱工業品関税の合意概要

## 日本から英国への市場アクセス

- ◇ 鉱工業品(経済産業省所管品目)について、品目数及び輸出額(英国向け約1.4兆円)で、**100%の関税撤廃**を実現。
  - ◇ 関税撤廃期間の日EU・EPAへの**キャッチアップ※**を獲得。  
※日英EPAの発効時から、日EU・EPA(2019年2月発効)と同じ削減税率を適用。  
(例)乗用車:日EU・EPAと同様に2026年2月に撤廃。
  - ◇ 日EU・EPAで獲得した**即時撤廃を維持**。  
(例)自動車部品では、ギヤボックス、リチウムイオン電池、ガソリンエンジン等、日EU・EPAと同様に92%の品目について即時撤廃を維持。
  - ◇ 加えて、以下のような**貿易額の大きな主要輸出品**や**英国日系自動車メーカーの競争力強化に資する自動車部品**について即時撤廃を追加的に確保。  
(例)**鉄道用車両・同部品**(日EU・EPA13年目撤廃、貿易額約700億円):即時撤廃  
**ターボジェット・同部品**(日EU・EPA4年目撤廃、貿易額約1,300億円):即時撤廃  
(注)英国政府は上記2分野は来年以降の無税移行を表明しているが、日英間での無税を法的に担保。  
**電気制御盤**(日EU・EPA6年目撤廃、貿易額約56億円):即時撤廃
- ⇒ **97%の品目について即時撤廃を獲得。**

## 英国から日本への市場アクセス

- ◇ 日EU・EPAと同様、鉱工業品(経済産業省所管品目)について、品目数及び輸入額(日本向け約8,200億円)で、100%を関税撤廃。
- ◇ 日EU・EPAで即時撤廃したものを同様に即時撤廃。

注)輸出額及び輸入額は、2018~19年の平均値。<sup>2</sup>

# 日英包括的経済連携協定(日英EPA) 農林水産品に関する大筋合意の概要

**1. 日本側の関税については、日EU・EPAの範囲内で合意。**

**(1) 日EU・EPAで関税割当枠が設定されている25品目について、新たな英国枠は設けない。 (※1)**

**(2) 日EU・EPAでセーフガードが設定されている品目について、日EU・EPAの下でと同じ内容のセーフガードを措置。 (※2)**

**(3) その他の農林水産品についても、日EU・EPAと同じ内容を維持。 (※3)**

**2. 英国側の関税については、牛肉、茶、水産物など主要な輸  
出関心品目について、関税撤廃を獲得した日EU・EPAの内  
容を維持。 (※3)**

- ※1 ソフト系チーズや一部の調製品について、日EU・EPAで設定された関税割当の未利用分が生じた場合に限り、当該未利用分の範囲内で、事後的に日EU・EPAの関税割当と同じ税率を適用する仕組みを設ける。
- ※2 数量セーフガードについては、英国とEUからの合計輸入数量が、日EU・EPAと同じ発動基準数量に達した場合に、英国に対して発動。
- ※3 協定発効時から日英双方が、相手国に対して日EU・EPAと同じ税率を適用。
- ※4 発効日は、英国のEU離脱に係る移行期間終了後、かつ国内手続の完了の通知後であって、両国が合意する日。
- ※5 農産品について、協定発効5年後の再協議規定あり。

## (参考)品目ごとの合意の概要

|        | 品目       | 日EU・EPA合意内容                                                                            | 日英EPA合意内容 <sup>※1</sup>                         |
|--------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 日本側の関税 | 米        | ・関税削減・撤廃等から除外。<br>(米・米粉等の国家貿易品目や、原料に米を多く使用する米菓等の加工品・調製品等も含め除外。)                        | ・日EU・EPAと同内容。                                   |
|        | 麦        | ・国家貿易制度、枠外税率を維持。<br>・小麦、小麦粉調製品等について、EU向けの関税割当を設定。                                      | ・日EU・EPAと同内容。<br>・英国向けの関税割当は設けない。 <sup>※4</sup> |
|        | 麦芽       | ・関税割当制度(枠内無税)、枠外税率(21.3円/kg)を維持。<br>・EU向けの関税割当を設定。                                     | ・日EU・EPAと同内容。<br>・英国向けの関税割当は設けない。 <sup>※2</sup> |
|        | 牛肉       | ・セーフガード付きで長期の関税削減期間を確保し、9%まで関税削減。発動基準数量は、4.4万トンから増加し、2033年度5.3万トン。                     | ・日EU・EPAと同内容。 <sup>※3</sup>                     |
|        | 豚肉       | ・セーフガード付きで長期の関税削減期間を確保。従価税部分について関税を撤廃、従量税部分について関税を50円/kgまで削減。差額関税制度と分岐点価格(524円/kg)を維持。 | ・日EU・EPAと同内容。 <sup>※3</sup>                     |
|        | 脱脂粉乳・バター | ・国家貿易制度を維持。<br>・民間貿易によるEU向けの関税割当を設定。                                                   | ・日EU・EPAと同内容。<br>・英国向けの関税割当は設けない。               |
|        | ホエイ      | ・ホエイ(たんぱく質含有量45%未満)について、セーフガード付きで関税削減に留める。                                             | ・日EU・EPAと同内容。 <sup>※3</sup>                     |
|        | チーズ      | ・ソフト系チーズは、一括してEU向けの関税割当を設定。<br>・熟成ハード系チーズ(チェダー、ゴーダ等)等については、長期の関税撤廃期間を確保。               | ・英国向けの関税割当は設けない。 <sup>※4</sup><br>・日EU・EPAと同内容。 |

|        | 品目                      | 日EU・EPA合意内容                                                                                                                                   | 日英EPA合意内容※ <sup>1</sup>                                                                                |
|--------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本側の関税 | 軽種馬                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠馬は、即時撤廃。</li> <li>・競走馬は、セーフガード付きで長期の関税撤廃期間を確保。</li> </ul>                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日EU・EPAと同内容。</li> </ul>                                        |
|        | 園芸関連品                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご、オレンジ、ぶどう等の果実、トマト加工品等は関税撤廃。</li> <li>・12月～3月に輸入される生鮮オレンジについては、セーフガードを確保。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日EU・EPAと同内容。※<sup>3</sup></li> </ul>                           |
|        | 砂糖・加糖調製品、でん粉、豆類、こんにゃく、茶 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・粗糖・精製糖（少量の新商品開発のための試験輸入枠）、加糖調製品等は、EU向けの関税割当を設定。</li> <li>・チョコレート菓子、ココア調製品、落花生、茶は、段階的に関税撤廃。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英国向けの関税割当は設けない。※<sup>4</sup></li> <li>・日EU・EPAと同内容。</li> </ul> |
|        | 鶏卵、鶏肉、天然はちみつ            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・殻付き卵、全卵又は卵黄、卵白、鶏肉、鶏肉調製品、天然はちみつは、関税撤廃。</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日EU・EPAと同内容。</li> </ul>                                        |
|        | 牛肉・豚肉の加工調製品等            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛内臓（ハラミ等）、牛タン、豚肉調製品（ハム・ベーコン、ソーセージ等）等は関税撤廃。</li> <li>・ハム・ベーコン等差額関税の豚肉調製品については、セーフガードを確保。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日EU・EPAと同内容。※<sup>3</sup></li> </ul>                           |
|        | 乳製品の加工調製品等              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスクリーム・氷菓、フローズンヨーグルト等は、関税削減又は撤廃。</li> <li>・全粉乳・バターミルクパウダー、無糖れん乳、無糖ココア調製品等は、EU向けの関税割当を設定。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日EU・EPAと同内容。</li> <li>・英国向けの関税割当は設けない。※<sup>4</sup></li> </ul> |
|        | 林産品                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造用集成材、SPF製材等の主な林産品10品目について、一定の関税撤廃期間を確保。</li> </ul>                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日EU・EPAと同内容。</li> </ul>                                        |
|        | 水産品                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海藻類（のり、こんぶ等）は、関税削減・撤廃等から除外。</li> <li>・あじ、さば等は、長期の関税撤廃期間を確保。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日EU・EPAと同内容。</li> </ul>                                        |

※<sup>1</sup> 協定発効時から日英双方が、相手国に対して日EU・EPAと同じ税率を適用。  
 ※<sup>2</sup> 英国産を含め、国内の事業者が必要とする数量を、これまでどおり一般関税割当で割り当てる。  
 ※<sup>3</sup> 数量セーフガードについては、英国とEUからの合計輸入数量が、日EU・EPAと同じ発動基準数量に達した場合に、英国に対して発動。  
 ※<sup>4</sup> ソフト系チーズや一部の調製品について、日EU・EPAで設定された関税割当の未利用分が生じた場合に限り、当該未利用分の範囲内で、事後的に日EU・EPAの関税割当と同じ税率を適用する仕組みを設ける。また、必要に応じて本仕組みの運用改善について、日英間で協議を行う。

|        | 日EU・EPA合意内容                               | 日英EPA合意内容 <sup>※1</sup> |
|--------|-------------------------------------------|-------------------------|
| 英国側の関税 | ・牛肉、茶、水産品など主要な輸出関心品目について、ほとんどの品目で即時撤廃を獲得。 | ・全ての品目で、日EU・EPAと同内容。    |

※1 協定発効時から日英双方が、相手国に対して日EU・EPAと同じ税率を適用。

関税撤廃、日本産酒類の地理的表示(GI)の保護について日EU・EPAと同内容を維持するとともに、英国における日本産酒類に係る非関税措置のさらなる緩和を確保

### 【日本産品の英国市場へのアクセス】

#### 【関税撤廃】

- ✓ 酒類、たばこ、塩について、全て関税を即時撤廃。(日EU・EPAと同内容を維持)

#### 【地理的表示(GI)】

- ✓ GI「日本酒」などの酒類GIを保護。(日EU・EPAと同内容を維持)

#### 【非関税措置】

- ✓ 「日本ワイン」に係る輸入規制を撤廃。(日EU・EPAと同内容を維持)
- ✓ 単式蒸留焼酎の容器容量規制について、四合瓶・一升瓶に加え、新たに五合瓶についても緩和。(日EU・EPAを一部拡充)

### 【英国産品の日本市場へのアクセス】

- ✓ 酒類、たばこ、塩について、日EU・EPAと同内容を維持。